

## 福島県伊達市から ハナモモが贈られました

4月11日、松前中学校で、姉妹都市の福島県伊達市から贈られた「ハナモモ」の植樹式が行われました。

ハナモモとは、花の観賞用に改良されたモモで、伊達市の「市の花」にも指定されています。

松前町と伊達市は、昭和59年（1984年）に旧梁川町と結んだ姉妹都市提携を、合併により伊達市になった後も引継ぎ、交流を続けています。

植樹式には、伊達市の須田市長も出席し、「35年前に松前町から贈られた桜は、市内の希望の森公園に植えられ、大きく育ち、その通りは松前通りと呼ばれ、市民に親しまれている。今回贈ったハナモモも皆さんで大切に育ててほしい」と20本のハナモモが松前町に贈られ、うち14本は松前中学校の2年生38人が、校舎前の校庭に植樹しました。



## 松中グラウンドで 少年サッカー大会

4月14日と20日、松前中学校で「松前ライオンズクラブ杯松前さくらカップ」が開催され、渡島・檜山管内から、14日は10チーム145人、20日は10チーム135人が出場しました。

松前サッカー少年団は、14日の大会ではリーグ戦3勝1敗で3位決定戦へ進みましたが、惜しくも敗れました。

20日の大会では、リーグ戦4試合で全勝し、決勝戦へ進みました。決勝戦では善戦したものの敗れ、準優勝に輝きました。



# まちの話題

## 松前中学校野球部が 松前公園を清掃

4月15日、松前中学校の野球部が、松前公園内の月琴堀周辺の清掃を行いました。

生徒たちは散策路にたまつた落ち葉や枯れ枝などをきれいに清掃していました。

主将の細川歩夢さん（3年生）

は、「昨年8月に行われた全国大会へ出場したときに、松前町からも援助をしてもらつたので、少しでもその恩返しができたらと思清掃をしました」と話していました。

4月13日、札幌市で札幌近郊に在住している松前出身の方々で組織するさっぽろ松前会（会長・長尾東彦）の総会が、開催されました。

総会には、会員約80名が出席し、長尾会長からのあいさつの後、石山町長と伊藤町議会議長から町政や松前の近況などの報告がありました。

出席された方々は、ふるさと松前を想う仲間たちと、思い出話を咲かせていました。

## 思い出話に花が咲く さっぽろ松前会



## 神社の石垣をきれいに

4月9日、河野土建株式会社（代表取締役・河野幸夫）が、地域貢献の一環として、上川地区にある狩場神社の石段と石垣の補修を行いました。

狩場神社の石段と石垣は、経年劣化により崩れ、参拝に支障をきたす状態になっていましたが、今回の補修により、もとのきれいな状態になりました。

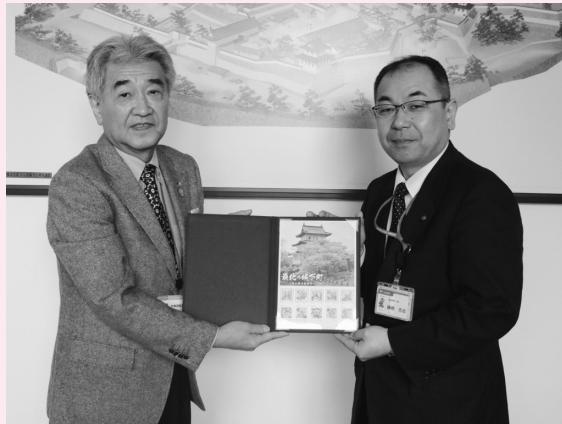


きれいに補修された石段と石垣



石垣が崩れた狩場神社

## 切手で松前のさくらをPR



松前郵便局（局長・磯崎浩志）が松前の桜を題材にしたオリジナルフレーム切手を作成し、町へ寄贈しました。

これは、同局が毎年作成しているもので、今年は「最北の城下町と桜の松前町」と題して、10種類の桜を切手にしました。切手は、松前町内や道南各地、札幌周辺の各局で取り扱われます。また、さくらまつりを訪れた観光客に松前の桜をPRするため、松前公園内に設置される臨時郵便局でも販売されます。



## ちょこっと 桜掲示板

新元号「令和」の出典「万葉集」には桜の歌が43首ほどあることにちなみ、「万葉集」成立時期の奈良時代から親しまれてい る八重桜の品種を紹介します。

### 奈良八重桜



聖武天皇が746年に発見したとされるカスミザクラが八重化した品種で、百人一首の一句「いにしへの 奈良の都の八重桜 けふ九重に にはひぬるかな」で有名。松前では最も遅くに開花する桜の一つ。

- \*花期／5月中旬から下旬
- \*所在／北鷗碑林周辺など
- \*花色／淡紅色

### 普賢象



室町時代から知られる桜で、普賢堂ともいわれた。雌しふが普賢菩薩の乗る象の鼻に似ていることから普賢象とも呼ばれるようになってい る。白色に近い淡い紅色の桜が、赤い若葉に照り映えて咲く優雅な桜。

- \*花期／5月中旬から下旬
- \*所在／松前城周辺など
- \*花色／淡紅色